

## 所長挨拶



松田寛治所長

日頃より、新名神高速道路建設事業（高槻～箕面）には多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様のご協力のもと、現地では設計協議が完了した地域から順次、用地関係の境界立会、境界測量、現地調査を実施するなど概ね順調に進んでおります。

用地取得も高槻市域の一部において既に3月より着手しこの年末からは箕面市・茨木市の一部地域において、さらに年度末までにはほぼ全面的に展開して参ります。

また皆様のご懸念されている環境への対策につきましては慎重に調査を行いその結果などを踏まえて適切に対処して参りますので、ご理解をお願いします。

新名神高速道路は北摂地域を高槻から現神戸ジャンクションまで結ぶ基幹道路です。地域活性化、関西圏の発展に大きく寄与するものと確信しております。

皆様とともにその日を一日でも早く迎えられるよう、所員一同全力で取組む所存でございますので、円滑な事業の推進に引続き格段のご協力を宜しくお願い致します。

## TOPICS

### ★ 用地関係業務の進捗状況について

#### ■ 高槻市域 ■

宮が谷地区（紅苺・磐手橋・草野）では、新名神事業と府道高槻東道路事業を並行して進めており、新名神事業において、既に90%の用地契約と数件の引渡しをいただいております。

なお、成合地区については用地境界測量が昨年度に概ね完了し、今年度の後半から用地取得に着手すべく鋭意作業を進めてまいります。

#### ■ 茨木市域 ■

下音羽地区・車作地区及び佐保地区においては、境界立会の結果を基に境界確定図を作成致しました。今後、地権者の皆様に図面の確認及び押印をお願いし、用地取得に向けた作業を鋭意進めてまいります。

また、千提寺地区においては用地境界立会が概ね完了し、現在境界測量を実施しております。

#### ■ 箕面市域 ■

下止々呂美地区においては、物件の調査が完了し、現在調査結果をとりまとめております。

その後、補償金等の算定作業の実施を行い、用地取得に向けた契約を鋭意進めてまいります。



### ★ 新名神高速道路（高槻～箕面間）建設事業進捗状況（平成20年9月末現在）

事務所	大阪工事事務所 高槻市～箕面市 19.5 km																							
行政	池田市		箕面市		豊能町		箕面市		茨木市							高槻市				枚方市				
地区名	中川原町	下止々呂美	上止々呂美	高山	箕面	粟生間谷	粟生岩阪	佐保	泉原	千提寺	大岩	忍頂寺	安元	忍頂寺	車作	下音羽	車作	萩谷	神峰山都市近郊林	原	川久保	成合	宮が谷	
地元協議		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
幅杭設置		●						●								●	●			●			●	
境界立会		●						●	●	●					●	●				●	●	●	●	●
境界測量		●						●	●	●					●	●				●	●	●	●	●
用地取得																							●	
工事																								
工事区	箕面工事区				茨木西工事区				茨木東工事区				高槻西工事区				高槻東工事区		大阪工事区					
工事長	池内 泰文				池 聖				徳田 逸夫				上田 武志				紙田 直充		神野 真一郎					
担当用地課					用地第二課												用地第一課							
用地課長					藤江 正												大橋 富喜男							

● 実施中    ● 一部完了    ● 完了    ■ トンネル区域    ■ 対象外

※用地業務につきましては、大阪府土地開発公社へ委託しており大阪府土地開発公社が窓口になって進めてまいります。

## ★ 自然環境保全対策に関して

新名神高速道路の大阪府域は、自然豊かな北摂地区を通過することから事業実施にあたっては、動植物の生育・生息環境に対する十分な配慮が必要となります。

このことから、昨年2月に7名の有職者を委員とした「自然環境保全検討委員会」を設置するとともに、昨年9月から今年8月まで1年間をかけて、建設予定地及びその周辺における希少動植物の生息・生育状況確認のための詳細調査を実施しました。

調査の結果、安威川のオオサンショウウオ等の希少種を含む種々の動植物が確認され、今後は道路建設工事による動植物の生息・生育環境への影響を最小限に抑えるべく、委員会を中心として保全対策の検討作業に取り掛かる予定です。

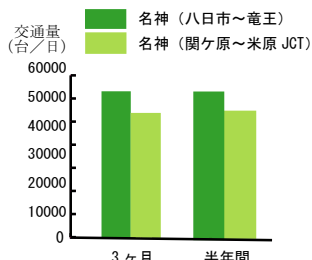
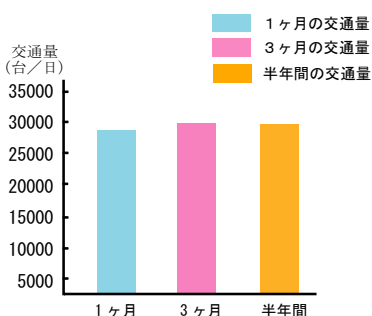
## ★ 新名神高速道路（亀山 JCT～草津田上 IC） 開通後半年間の交通状況

開通後半年間の平均交通量は約29,000台/日となり、開通後1ヶ月の約28,000台/日、開通後3ヶ月の約29,300台/日と同程度の交通量となっており、早期開通割引後の交通量も割引前と同程度となっています。

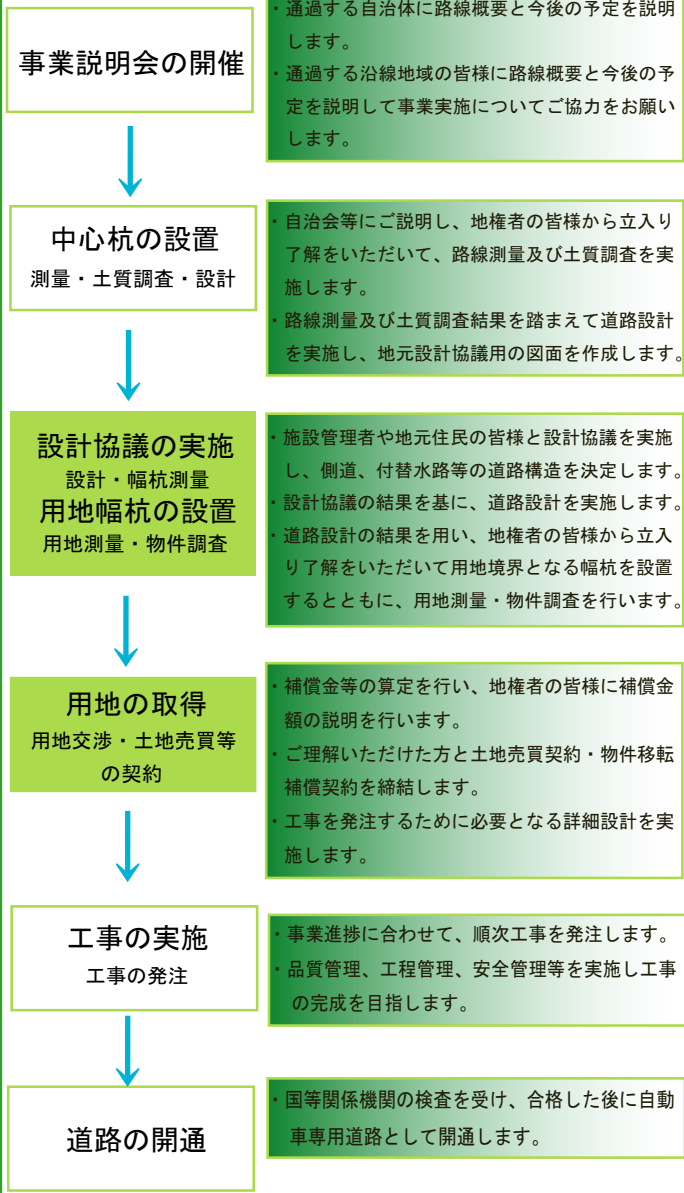
新名神高速道路を利用する交通の定着が図られ、並行する名神高速道路や国道の渋滞を緩和するなど、一定の効果が表れています。例えば並行する名神高速道路では、昨年と同時期と比べ約1万4～5千台/日減少し、新名神高速道路への転換が図られている一方、名神高速道路の草津 JCT～瀬田東 JCT では約9千台/日、東名阪自動車道の亀山 JCT～鈴鹿 IC では約1万6千台/日増加しています。



新名神高速道路（亀山 JCT～草津田上 IC）  
開通後半年間の交通量



## ★ 高速道路建設の流れ



## メンバー紹介

本年5月より大阪工事事務所に勤務しております、技術担当副所長の佐藤と申します。

新名神事業も設計協議が終わった地区から用地幅杭をうたせていただき用地買収の交渉に入っていく段階となりました。路線につきましては、皆様ご存知のように自然豊かな北摂山系を通過する高速道路となっており、自然環境などに配慮した道造りが求められるところでございます。

今後も地域の皆様や関係機関等との意思疎通を図りながら事業の早期完成を進めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。



佐藤副所長



「いいことやろう西日本、社会に尽くそう西日本。高速道路で西日本。」

西日本高速道路株式会社は  
チーム・マイナス6%に  
参加しております。



お問い合わせ窓口

西日本高速道路（株）関西支社 大阪工事事務所 工務課  
〒565-0805 大阪府吹田市清水15-1  
Tel : 06-6876-9103  
Fax : 06-6876-9125

NEXCO西日本

建設事業進捗状況等の情報はこちらのアドレスへ↓↓

<http://corp.w-nexco.co.jp/activity/progress/>